



大安寺報

曹洞宗 圓祥山大安寺 住職：長岡俊應

〒039-4401 青森県むつ市大畑町本町80番地
Tel 0175-34-2926 Fax 0175-34-6426
E-mail info@daijanji.jp

名句・名言に学ぶ

人間は実が入ると仰く 菩薩は俯く

秋は実りの季節。ここ大畑でも、秋野菜が収穫の季節を迎え、野山ではキノコや栗などの山の恵みをいただくことができます。また、堂近の田んぼでは、手塩にかけて育てた稲が実り、秋ならではの黄金色の景色が広がっています。

稲はご存知の通り、実るほどにその頭が垂れてきます。古の人は、その様子を人間にたとえ、有名な「実るほど頭を垂れる稲穂かな」ということわざを残してくれました。稲が実を熟すほど穂が垂れ下がるように、大人物は学問や徳が深まるにつれ謙虚になり、小人物ほど尊大に振る舞うものだという意味ですが、冒頭の慣用句は、その類義句です。煩惱を具えた凡夫が尊大になってしまふのに対して、菩薩（如来の次の位・仏弟子の意味）は謙虚になるという意味です。これは大変厳しい戒めのことばですね。

曹洞宗において、仏弟子が守らねばならない戒律の中に「不自讃毀他戒」という戒めがあります。自らをほめ、他人を誇つてはならないという意味です。こんなことはありませんか？「さつきまで一緒に何人かで世間話をしていただご近所さ

んの一人がいなくなると、とたんにその人の悪口になる」「食事の席で、ついつい人の批判ばかりしてしまう」。人を誇るという行為には、麻薬のような力があります。不満を解消したり、結束力を高めた。：。反面、そのことで自らの心を汚すことにもつながります。一方で、つい自分のことや家族のことを、人前で自慢したりしてしまいませんか？聞く人も、最初は話を合わせてくれていても、それがあまりに過ぎれば、気分を害してしまふこともあります。ことほど左様に、自分を守るの難しいものです。：。

お寺参りをする際、多くのお檀家さんが、本堂で御本尊様（釈迦如来）に合掌礼拝してから位牌堂やお墓にお参りになります。御本尊様の前で手を合わせる時



心が安らぎ、また、謙虚な心になります。せんか？その心を出来る限り日常でも保つことによつて「不自讃毀他戒」を守ることが可能になります。このお彼岸から共に実践して参りましょう。

合掌

仏事

Q & A 第二十六回

Q. 「お位牌を、家から家にあるいはお仏壇からお仏壇に移動する際に、法要を行う必要はありますか？」

A.

お位牌についての法要は、新たにお位牌を作った際の「点眼（魂入れ）法要」の際のみ必要です。不要になったお位牌は、お寺にお持ちいただければ「撥遣（魂抜き）法要」の上お焚き上げをいたします。

また、新たにお仏壇を設けた場合は、御本尊様のみお寺にお持ちください。本堂にて「点眼法要」を行った後、お渡しいたします。なお、御本尊様を処分する場合は、お位牌と同様に、お寺にてお預かりし、お焚き上げをいたします。※当寺では、可燃物以外のお焚き上げはお断りしております。

当寺の最新情報をチェック！

■大安寺ホームページ

<http://www.daijanji.jp>



@daijanji2010

※行事予定などをお知らせします。



facebook

<http://www.facebook.com/daijanji>

大安寺の宗旨：曹洞宗 本山：福井県永平寺・神奈川県總持寺 高祖：道元禪師 太祖：瑩山禪師
ご本尊：釈迦牟尼仏 本尊唱名：南無釈迦牟尼仏（なむしゃかむにぶつ）